診療所建設委員会 渡辺 馨さんの

見て歩き

常磐線（原ノ町-小高）の運転再開に反対 怒りの声を上げました！

7/12、南相馬市小高区（原発から20km圏）の避難指示解除と一体でJR常磐線原ノ町～小高間が運転再開。当日は南相馬市桜井市長と高木経産省副大臣はじめ市役所の職員と報道関係者150人ほどが原ノ町から電車に乗り、7時30分小高駅で記念式典が開かれました。

私は希望の牧場の吉沢さん（浪江町）と一緒にこの式典に**「被曝と帰還の強制を許さない」**という横断幕を広げて声を上げました。地元の住民の方からは**「声を上げたくても上げられない人たちにとってありがたい行動だった」「除染も終わっていないし、生活ができる状況ではない」「JR運転再開はただのパフォーマンス。誰も必要としていない。車がなければ生活できないから」「避難指示解除で今まで電気ガスは支払い免除だったのに、今朝早速請求書がきた」**と声をかけられました。

12時からは国鉄福島動力車労働組合（動労福島）の主催で原ノ町駅前で40人で集会し、原ノ町運輸区にも申し入れも行いました。さらにこの日は動労水戸がいわきでストライキに入り、動労東京も新宿にあるJR本社に抗議行動をし全国で一斉に怒りの声をあげました。

7/12 小高駅前

20ミリシーベルトまでは安全！？がんになっても政府も東電も行政も県立福島医大も責任など取りはしない。ひとつひとつ、許さず声をあげないと、それは自分たちにも強制されます。労働組合がしっかり声をあげることが必要だとあらためて思う行動になりました。

7/7は布施院長、動労福島、動労水戸の3者で「常磐線運転再開に反対する」記者会見を県庁記者クラブで実施。翌日の福島民報と民友に掲載されました。

お母さんのアンテナ

参院選の結果から感じること

伊達市のお母さんからです。

参院選挙後、「改憲勢力３分の２確保」がやたら強調され報道されています。"改憲”が成立したかのような報道です。

福島は、どうだったでしょうか？福島選挙区は自民党が負けられない最重要選挙区とされていました。その福島で現役法務大臣でもある自民党議員が負けました。びっくりしましたね。でも福島県民は今の政権に満足していないということが表れたのかもしれませんね。同じ思いの人がいたということにちょっとホッとした選挙結果になりました。沖縄でも現役自民党大臣が落選。原発事故、沖縄基地で問題を突きつけられている当事者の正直な思いだと思います。

「このままではダメだ」と思う気持ちが政治に関心をむける第一歩になると思います。その一歩で明日の歩き方もきっと変わりますよ。

※イラスト：「動き出したら止まらない原発」（出典：Arab News）

編集後記

福島県教委が県内の中学2年生に行なったアンケートで、「将来も福島に住みたい」が25％だったと報じられた。脅迫的な「安全」キャンペーンや異様な帰還の強制に、自然と不安を感じるのだろう。保養に行くこと自体が「風評被害」をまねくなどと悪罵を投げつける人もいるが、放射能による健康被害が増えるのはむしろこれから。子どもたちをぜひ保養へ行かせてほしい。（え）

乳腺エコー検査を受けましょう！

＊**検査実施日　金・土曜日**
※土曜日は女性スタッフが検査を担当します

＊**診察時間**　午前１０：００～１２：３０
午後　２：３０～　６：００

＊**検査時間**　３０分程度（要 電話予約）

＊**窓口負担**　１９００～２５００円

スリーマイル、チェルノブイリ原発事故後
乳がんの発生率が増加したと言われています。

- 乳がんは、女性のかかるがん第一位。
- 特に４０歳以上の方、年一回の検査をおすすめします。
- エコー検査は、放射線被ばくがなく、痛みもありません。

発行：2016年7月31日

ふくしま共同診療所 Newsletter
ここから通信 -KOKOTU-
第14号 季刊-夏・秋号-

診療時間：9：30-12：30/14：30-18:00

	土	日	月	火	水	木	金
午前	●	●	●	●	－	●	●
午後	●	●	－	●	－	●	●

診療科目：内科/放射線科/循環器科/ﾘｳﾏﾁ科

〒960-8068
福島市太田町20-7 佐周ビル１階
TEL:024-573-9335 FAX:024-573-9380

政府・福島県による放射能汚染区域への帰還の強制に反対します

健康を守るために定期的に検査を受けましょう

ふくしま共同診療所 院長 布施 幸彦

◆安倍政権にNOが示された参議院選挙

参議院選挙で福島県民は安倍政権に「ＮＯ！」を突きつけました。沖縄でも同じです。ただちに政府は、全国から500名もの機動隊を沖縄に動員し、反対する住民を力づくで排除して、オスプレイのヘリパッド建設を強行しています。選挙結果への報復です。

◆帰還の強制と自主避難者の住宅支援打ち切り

福島でも帰還困難区域の一部解除計画が唐突に発表されました。沖縄と同様、福島切り捨ての政策であることは間違いありません。今年に入って政府も福島県も「放射能汚染は心配ない」として矢継ぎ早に避難指示の解除を進めています。葛尾村、川内村につづき南相馬市では1万人を超える住民への避難指示が解除されました。福島県も2017年3月で自主避難者への住宅補助を打ち切ることを表明しています。県外避難者の自宅を回って「福島県に帰還するように」と説得工作まで行っています。事故をなかったことにし、「復興」を演出したいのでしょうが、「安全だ」と言い張って連れ戻そうとしている先は、フレコンバッグの山です。

◆福島切り捨てのオリンピック

先日、東電は、何千億円もかけて建設していた凍土遮水壁の「全面凍結はムリです」と、とうとう地下水対策を投げ出しました。１基千トンの汚染水タンクはすでに千本を超え、タンクのなかの水の十万倍も濃度が高い汚染水が、まだ6万トンも建屋の地下に何の打つ手もないまま放置されています。「汚染水はアンダーコントロール」とウソをついて招致した東京オリンピックは破産するか、世界中に福島の危機的な現状があらためて明らかになる場となるか、どちらかです。

◆173人の小児甲状腺がん

福島県ではすでに173人の甲状腺がんないし疑いの子どもたちが見つかっています（6/6県民健康調査検討委員会発表）。事故から5年たち、放射能被ばくによる健康被害は隠しようもなく拡大しています。大人の甲状腺がんが増えているというレポートも最近報道され話題になりました。こうした現状を放置することは絶対に許されません。

子どもたちの未来のためにも、当院は国と福島県のいかなる圧力、妨害にも屈することなく、「避難・保養・医療」の原則のもと、甲状腺エコー検査の保険診療をはじめ、県民の命と健康を守るためにこれからも全力をあげます。まだ甲状腺エコー検査を受けていない方はもちろん、すでに受診された方も定期的な検査をおすすめします。エコー検査は被ばくの心配がなく、乳がんや、心臓 、肝臓、すい臓、腎臓などの検診にとりわけ有効です。当院は経験豊富なスタッフが検診を行います。そのほか、健康不安、被ばくへの不安などんでもお気軽にご相談ください。

早期発見、早期治療が大切です。

健康を守るために大人も子どもも検診を受けましょう！
お問い合わせ、ご予約はお電話でどうぞ 024-573-9335

福島市 市民検診

※当院での受診期間は１０/３１まで

一般の検診の他、下記の検診が受けられます
●肝炎ウイルス検査●大腸がん検診（一次）
●肺がん検診（一次）●前立腺がん検診（一次）
●骨粗しょう症検診

甲状腺・乳腺エコー検査

検査日	土	日	月	木	金
午前 9:30-12:30	○ ♥	○	○	○	○
午後 2:30-6:00	○ ♥	○	－	－	○ ♥

○→甲状腺エコー　♥→乳腺エコー
※土曜日の乳腺エコーは女性技師が担当します